



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

第65号

令和3年(2021年)

8月1日発行

石川県宝達志水町議会



宝達山ファンクラブ

能登最高峰である宝達山の散策案内や
登山道「こぶしの路」の草刈りなどの整備を行い、
宝達山の楽しさを届けます。



- 議長就任のあいさつ、議会組織構成・・・2
- 令和3年第2回定例会・・・・・・・・・・3
- 第1回臨時議会、議案に対する質疑・・・4
- 討論・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 「町政を問う」一般質問(8名)・・・・6
- 常任委員会等審議・・・・・・・・・・15

令和3年第2回定例会
6月18日

議長に金田之治氏を選出

就任のごあいさつ



宝達志水町議会第9代議長

金田之治

町民の皆さまには、日頃から町議会へのご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

6月18日の定例会において、議員各位のご推挙により、議長の要職に就任いたしました。誠に身に余る光栄と存じますとともに、その責任の重さを痛感いたしております。

さて、宝達志水町においても、少子高齢化社会に対応した福祉の充実、教育の向上をはじめ、多くの課題が山積みしております。

町民の皆さまの負託に応えるため、議会として行政に対する監視機能に加え、いろいろな意見としっかりした議論ができ、円滑な議会運営に努めていくため、誠心誠意、努力し頑張るつもりです。

今後とも、一層のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。就任のごあいさついたします。

議会組織構成

(◎は委員長、○は副委員長)

副議長

塚本 勇仁

総務産業建設常任委員会

◎ 小島 昌治 ○ 岩根 信水
北 信幸 柴田 捷 塚本 勇仁 林 稔

教育厚生常任委員会

◎ 松浦 文治 ○ 勝二 正人
金田 之治 北本 俊一 土上 猛

議会運営委員会

◎ 北本 俊一 ○ 柴田 捷
北 信幸 小島 昌治 塚本 勇仁

病院運営特別委員会

◎ 勝二 正人 ○ 小島 昌治
柴田 捷 塚本 勇仁 松浦 文治 岩根 信水

広報編集特別委員会

◎ 林 稔 ○ 小島 昌治
塚本 勇仁 松浦 文治 勝二 正人

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

◎ 塚本 勇仁 ○ 岩根 信水
北 信幸 小島 昌治 金田 之治 北本 俊一 柴田 捷 土上 猛 林 稔 松浦 文治 勝二 正人

議会改革特別委員会

◎ 林 稔 ○ 柴田 捷
北 信幸 北本 俊一 塚本 勇仁 松浦 文治

ふるさと人口対策特別委員会

◎ 岩根 信水 ○ 勝二 正人
北本 俊一 柴田 捷 林 稔 松浦 文治

町監査委員(議会選出)

柴田 捷

羽咋郡市広域圏事務組合議会議員

北 信幸 金田 之治 北本 俊一 塚本 勇仁

委員会

◎ 岩根 信水 ○ 小島 昌治
北 信幸 金田 之治 北本 俊一 柴田 捷 土上 猛 塚本 勇仁 林 稔 松浦 文治 勝二 正人

石川県後期高齢者医療広域連合議会議員

金田 之治

令和3年第2回

6月10日～6月18日

定例会



令和3年第2回町議会定例会が開催され、補正予算4件、条例5件、契約2件、財産の取得1件が可決されたほか、7件が承認されました。また、議会議案提出1件が可決されました。

令和3年度 補正予算の状況

会計名		補正後の予算額	補正額
一	一般会計	80億2,325万円	1億4,221万円
特別会計	国民健康保険	14億5,865万円	113万円
	ケーブルテレビ事業	8,423万円	531万円

補正予算の主な内容

空き家バンク事業

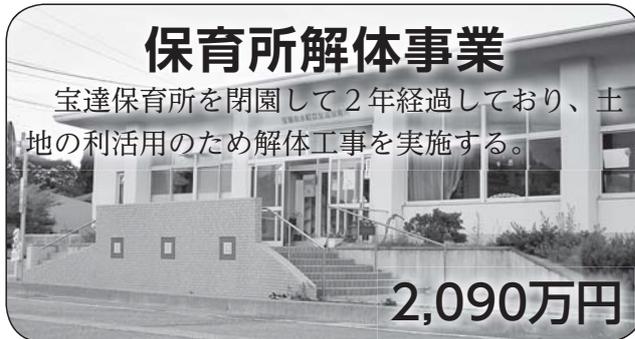
空き家バンクの登録を促進するため、区長を仲介役として登録が完了した場合、空き家所有者と区長に報奨金を交付する制度を新設する。



120万円

保育所解体事業

宝達保育所を閉園して2年経過しており、土地の利活用のため解体工事を実施する。



2,090万円

道路整備事業

町道2路線（宿今浜1号線、米出北川尻線）の道路改良工事を行う。



5,200万円

志雄小学校管理費等

志雄小学校のグラウンドの芝生化及びそれに伴う芝生への水やりのための散水栓を設置する。



109万円

議員別賛否の状況 (賛否が分かれた議案等のみ)

件名	結果	岩根 信水	勝二 正人	松浦 文治	林 稔	塚本 勇仁	土上 猛	柴田 捷	北本 俊一	金田 之治	小島 昌治	北 信幸
議案第35号 中央保育所整備工事 (建築) 請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	欠	-	○	×	×	×
議案第36号 中央保育所整備工事 (機械設備) 請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	欠	-	○	×	○	○

○は賛成、×は反対、△は退場、欠は欠席を表しています。なお、議長は、議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明します。「[裁]」と記載

4/27 第1回臨時議会

第1回臨時議会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策経費等に係る補正予算2件が可決され、人事案件2件が同意されました。

補正予算の主な内容

○新型コロナウイルス感染症対策社会福祉事業費

600万円

町内の介護事業所、医療従事者等が実施する感染対策やPCR検査等の費用に對して補助する。

○新型コロナウイルスワクチン接種事業費

454万円

新型コロナウイルスワクチン接種のための会計年度任用職員(2名分)の給与等に係る事業費。

○新事業展開等支援補助金 (事業者向け)

2,050万円

新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた町内事業者に対して、新事業の展開又は既存事業の拡充等を支援する。

補助対象となる経費

試作開発費、販売促進費、システム開発費、設備・備品費

○新型コロナウイルス感染症

防止資機材等購入費補助

金(第2弾)

1,000万円

人事関係

○教育委員会委員の任命

市村栄宗氏(北川尻)

(任期は、令和3年5月10

日から4年間)

○固定資産評価員の任命

守田 幸浩氏(小川)

第2回定例会 議案に対する質疑



小島 昌治 議員

質 小島 議員

議案第29号の町長の給与の「特例」についてお聞きする。

これは月々の町長給与の10%を4年間削減するという「特例」ですが、「特例」にしないで、条例ではつきりと10%削減した町長の給与体系になぜ、しないのか。お聞きしたい。

2点目に、65歳以上の方

の新型コロナウイルスワクチン接種が行われているが、感染防止にはできるだけたくさんの方に、できるだけ早く接種していただく事が大事なので、町としての接

種の目標を持っているのかどうかお聞きしたい。持っていないのであれば、持っていないと言っていたいて結構です。

答 寶達町長

給与削減の「特例」は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考えて、私の判断でやることにした。

答 浜坂健康づくり推進室長

65歳以上の方の接種に関しては、7月末終了を考えている。

64歳以下の方のワクチン接種に関しては薬剤供給の関係もありますが、できるだけ早く接種していただくよう努める。

討論!

◎第2回定例会

令和3年度6月議会の予算賛成討論



小島 昌治 議員

令和2年度の決算では3億8千万円の黒字です。そして、国から新型コロナウイルス感染症の交付金が4千万円使われずにあります。本来ならこの4億2千万円余りを新型コロナウイルスが落ち着いている今、高齢者が利用する医療や介護の現場、子どもたちが利用する学校・学童・保育所職員の定期的なPCR検査に使うべきです。また、新型コロナウイルスのワクチンを町民が一刻も早く接種できるように、臨時の

看護師の雇用などの接種体制の充実に使うべきです。また、北議員が一般質問で指摘されていたように、国や県のコロナ交付金の支給対象外の町業者などに使う予算を組むべきでした。今回、町長より提案された6月議会の予算は新型コロナウイルス感染症に対する科学的な認識に基づいた取り組みへの欠如があり、コロナで大変な町民への配慮に欠ける予算です。新しい感染症とたたかう町行政の責任者なら、この欠点の改善を求めます。

ただ、新型コロナウイルス感染症への行政側の遅れた認識による施策の立ち遅れの予算案であるというだけで予算案に反対しませんが、今回の予算案には麦生区、御館区、敷浪区、上田区の町民が求めている獅子舞用具の交付の決定が自治総合センターにおいて行わ

れ、町の予算に反映されませんでした。また、町民からの要望のあった消防や防犯施設の充実が図られている予算案です。また、国からの低所得の子育て世帯への交付金が決定された予算案です。その他にも、中学校への特別支援教育支援員の配置が一名増員された予算案など、町民にとっては前向きな予算も計上されています。よって賛成とします。

令和3年度6月議会の中央保育所改修整備工事入札結果についての反対討論



小島 昌治 議員

入札結果反対の第1の理由は現在の中央保育所立地

場所は予想されている洪水に対応できないからです。改修整備では、保育所本体のかさ上げはできません。町長は急には水嵩が120cmにならないから大丈夫だといいますが、どのような状態なら子どもたちを避難させるのかの計画や訓練もありません。反対の理由の第2は、この保育所改修の工事がまたもや競争相手もなく一社だけで行われたという事です。そのため、予定価格に対する落札率が98・5%という高さです。一社だけなら、入札を行わないというルールを作るべきです。今回落札した企業が町の他の工事をジョイントでまたは単独で行った落札率は97・5%と非常に高い。一方、他の町の業者の工事では平成29年度から令和2年度までにおいて落札率は94%です。「ここに何かあるのではないか」と町民に指摘される根拠があります。

反対する理由の第3は、寶達町長が町内飲食店などの酒の席に、今回保育所改修整備工事を落札した会社役員と同席していたという事が町民から指摘されています。私が質疑で町長に、そのような事実はあるのかお聞きしたら、町長は肯定しました。重大な問題です。よって、異常に高い落札率と子どもたちの命を博打にかけるような、中央保育所改修整備の入札に反対します。



▲中央保育所

町政を問う

議員8人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般にわたって、町長などの執行機関に対して事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明・報告を求めるものです。

	ページ
■北 議員	7
・千里浜なぎさドライブウェイの海岸浸食の早期対応を	
・浜茶屋売店組合等への町独自の救済措置を	
■金田議員	8
・上下水道の将来と料金を真摯にお考えを	
・公園整備や公園施設の有効な利活用を	
・保育所、小学校の統廃合をどう考える	
■岩根議員	9
・投票環境の向上のため移動投票所の導入を	
■松浦議員	10
・災害時の「車中泊」の対応を検討せよ	
・町の魅力ある文化財を活用せよ	
■塚本議員	11
・多目的運動広場とスポーツセンターの維持管理をどのように考える	
■林 議員	12
・G I G Aスクール構想を確実に実施せよ	
・ひきこもり支援をどのように考えるか	
・(その他の質問) 宅地造成の支援について	
■勝二議員	13
・様々な分野での表彰制度の創設を	
・冬季の通学について、バス通学の実施を求める	
■小島議員	14
・町は専門家の指摘を取り入れた感染対策を	
・令和2年度の黒字3億8千万円とコロナ交付金4千万円の利用を	
・(その他の質問) 小学校の統廃合について	



北 信幸 議員

千里浜なぎさ ドライブウェイの 海岸浸食の早期対応を 今後、要望活動を行いたい

問 北 議員
千里浜なぎさドライブウェイの海岸浸食について、金沢港の西防波堤が建設されて以降、年間8万立米の砂が南側、金沢・内灘の方へ運ばれており、海岸浸食が年々急速に進行している。県は2、3億円かけて数年間、千里浜沖で2万立米の浚渫した土砂を海上投入しているが、全く目に見えた効果がない。これは、人災である。そのため、全国でも有

名なイダゴの漁獲量がずいぶん減っている。漁獲量が減って生活が出来ないという理由で、以前は200人ほどいた組合員が、現在は60人足らずになり、専業の漁師も少なくなった。
無駄なお金を毎年使って穴を掘り、捨て場がなくなつた砂を千里浜海岸に投棄され、我々漁民は本当に困つてる。
また、平成20年と22年に県と同意書を交わし、平成23年度には、人工リーフを今浜沖に2基設置した。人工リーフが完成してから3年経たずにして、米出海岸が日に日に無くなつていった。それには、県との覚書もあり人工リーフの因果で南側が極度に浸食をしたら、必ず養浜工事をして原状に戻すという内容であるところだが、なかなか応じてもらえず、県などへ再三にわたりお願いしたが思うようにやっていただけなのが見えぬ状態である。そこで、町ではこの浸食、養浜を何とかして欲しいということ、国、県そ

ういった出先機関に町独自で要望活動を行われたのか。

答 寶達町長

今後、更なる対策として千里浜再生プロジェクト委員会での検討結果に基づいた対策が講じられ、町は県や海岸を共有する羽咋市と共に、貴重な資源である千里浜なぎさドライブウェイの保全に取り組んでいきたい。
また、私は国、県への正式な要望書を持つての活動は行っていない。



▲海岸浸食が進行する千里浜なぎさドライブウェイ

問 北 議員
5月大型連休明けから6月末まで、県の緊急事態宣言によりドライブウェイは通行止めとなり、我々の漁業協同組合の1員である浜茶屋組合、売店組合はその後一切営業はされていない。国や県のコロナ関連予算はありますが、町独自でそういった浜茶屋売店、あるいは町内の飲食店、全ての町民の方々に対する支援策をいち早く考えていたきたい。現実今生きていくためにそこをしっかりと考えていただきたい。

答 寶達町長

浜茶屋組合等への町独自の救済措置について、千里浜なぎさドライブウェイには、今浜海岸に浜茶屋が2店舗、出浜海岸に貝売店が4店舗営業し

浜茶屋売店組合等への 町独自の救済措置を

町独自の給付金を支給したい

ている。例年、貝売店は3月、浜茶屋は4月に営業開始しているが、コロナウイルス感染拡大に伴う石川緊急事態宣言により千里浜なぎさドライブウェイが通行止めとなり、休業せざるを得ない状況となっている。これに加えて、県は飲食店へ協力金支給とセットでの営業時間短縮要請を行っているが、浜茶屋や貝売店は、元々、夜間は営業していないことから協力金は支給されない。
町は営業時間短縮により影響を受けている飲食店や宿泊事業所、特に県の協力金の支給対象でない浜茶屋や貝売店等には給付額を加算する独自の給付金を支給したいと考えている。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)

上下水道の将来と料金を

真摯にお考えを

必要なときに料金の見直しを

検討したい



金田 之治 議員

収分は大切な税金を投入し、賄っているが、選挙のためのPRにしか思えない。若い世代に将来の負担をさせることについていかがか。

答 寶達町長

問 金田議員
下水道の基本料金で1立方メートル当たり500円を値下げし、これにより約2千5百万円の減収となった。この減収に対する財源をつくるため、1期4年間でどのような無駄を省き、運営してきたのか。今後の料金改定や見直しについても伺いたい。

また、上下水道料金も減収をたどっており、上下水道では管路の更新が待ったなしである。耐用年数の切れそうな管路はいったい何kmあるのか。減

下水道の基本料金を下げたことによる年間約2千5百万円の減収については、一般会計からの繰出しにより補填している。下水道事業では、令和元年度にストックマネジメント計画の変更に伴い、これまで町の単独事業で行っていた改築更新を国庫補助制度を活用して行うことで、財源の効率化を図っている。

公園整備や公園施設の
有効な利活用を
指定管理者制度の導入を
検討している



▲白虎山公園の松くい虫による被害状況

な料金体系の在り方について検討する。下水道は、町民負担の度合い等を見極めながら必要な時に料金の見直しを検討したい。

問 金田議員

公園等の整備では、基本構想も示され、場所についても押水地区で、商工会が使用・管理する「ネクス」とも言われているが、志雄地区では古墳公園や白虎山公園があり、特に白虎山公園では、桜の樹勢が衰え、枯れも目立つようになり、丘の上は赤松が茂っていたが、松くい虫でハゲ山状態となっている。何か考える必要があると思うがいかがか。

答 寶達町長

白虎山公園の樹木については、専門家による診断を実施し、必要な維持管理について検討したい。

保育所、小学校の統廃合を
どう考える

2校体制で統合を進めていく

問 金田議員

保育所、小学校の統廃合について児童、生徒の減少で、小学校は令和5年から複式学級も始まることになる。予想はしていたが、当時は、小中一貫校も考えていたかと思う。志雄地区について、志雄小校下19集落、樋川小校下6集落、人口も6対4と大きな特徴がある。小学校は志雄小学校、保育所は南部保育所として、住民も概ね苦渋の選択をしていたが、政策の変更なのか、中央保育所に2億5千万円かけて改修するという。時間をかけ、検討したことは、いったい何だったのか。

答 寶達町長

志雄地区の体育施設については効果的、効率的な活用を図るために指定管理者制度の導入を検討している。

保育所については、良好な保育環境づくりの観点から4保育所を維持することとしております。昨年度は北大海第一保育所大規模改修工事を実施しており、今年度は中央保育所の当初棟が築45年を経過し、老朽化が著しいことから、児童にとって安全で快適な環境を確保するため、同保育所の整備工事を実施するものであります。小学校については、教育の場として、また地域コミュニティや防災等の観点から、まちづくりの重要な役割を担っていることから、慎重に検討した結果、2校体制として統合を進めていく。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



岩根 信水 議員

問 岩根議員

町内の投票区は10箇所
で、約8割の地区の住民
が集落をまたいで投票に
いかなければならない状
況である。

運転免許証を持ってい
ない方など、自由な移動
手段で町内に設置された
投票所まで足を運べない
方がおられる。

投票所まで連れて行っ
てもらわないと投票がで
きないという状況には問
題があり、有権者がそれ
ぞれの権利を行使できる

投票環境の向上のため 移動投票所の導入を

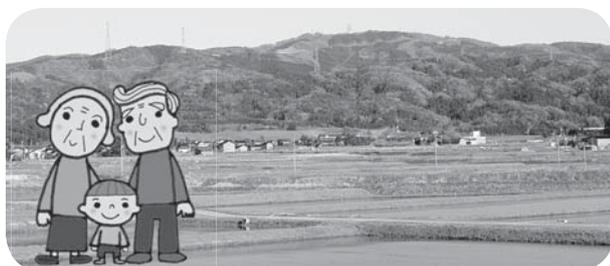
選挙管理委員会での 議論を期待する

＜投票所と区域＞

投票区	投票所	投票区域
第1投票区	北大海第一保育所	森本、免田、北川尻、
第2投票区	紺屋町会館	東間、東野、紺屋町、 正友、坪山、冬野
第3投票区	町民センター 「アステラス」	御館、中野、三日町、上田出、 上田、門前、沢川、宝達、 山崎、河原
第4投票区	宝達中学校	小川、米出
第5投票区	相見保育所	麦生、今浜
第6投票区	宿会館	南吉田、竹生野、宿
第7投票区	南部保育所	敷浪、敷波、出浜、 柳瀬、荻島、荻谷
第8投票区	志雄小学校	荻市、子浦、吉野屋、 海老坂、針山、聖川
第9投票区	菅原会館	菅原、二口、杉野屋
第10投票区	宝達志水スポーツ センター (旧志雄運動公園体育センター)	原、当ノ熊、新宮、散田、 下石、石坂、向瀬、所司原、 走入、見砂、清水原



▲第10投票所「宝達志水スポーツセンター」



▲高齢化により投票所への移動が困難

環境を整えるため移動投
票所の導入を検討するべ
きだと思いが、どうか。

答 寶達町長

先般執行された町長選
挙の投票率は、同日執行
された県内の他の2町の
町長選挙を上回る結果と
なったことから、現在の
投票所10箇所、期日前投
票所2箇所の体制であっ
ても一定の利便性は確保
されていると思われる。
しかしながら、今後も

高齢化が進行し、投票所
への移動が難しくなる方
が増えることが見込まれ
る。加えて、人口減少に
伴う投票区の再編も、今
後の課題ではないかと考
える。

よって、有権者の投票
機会を確保するために、
期日前投票における移動
投票所や移動支援などに
ついて、選挙管理委員会
において前向きに検討し
ていただければと考えて
いる。

問 岩根議員

選挙管理委員会の管轄
ということでお伺いした
が、答弁で言われたとお
り、今後、高齢化が進み
移動手段が自由にならな
い高齢者が増えてくるこ
とが予想される。小松市
で設置された移動投票所
は山間部のみであったが、
実情として、山間部以外
でも投票所まで遠いから
行けないという声もある
ため、町として選挙管理
委員会に配慮していただ
けるよう意見を添えてい
ただけないか。

答 寶達町長

今後、高齢化が進んで
いくことも踏まえた必要
な対応、山間部のみでは
なく平野部においても交
通弱者がいることにつ
いて選挙管理委員会で検
討していただけたらと思
う。
私から直接お願いする
ことは難しいが、このよ
うな議論があったことを
踏まえて選挙管理委員
会の方でも課題として捉
え、議論していただくこ
とを期待している。



松浦 文治 議員

災害時の「車中泊」の

対応を検討せよ

車中泊を想定した対策を検討する

問 松浦議員

町として災害時における「車中泊」に対してどのような認識を持っているのか。

また、防災基本計画では、避難場所がすべて建物を想定しているが、「車中泊」は想定しているのか。

本町で車中泊をする場合、水や食料、お風呂やトイレ、情報等が手に入りやすい場所として災害時に開放される予定の場所はどこか。

車中泊を想定した場合、避難訓練は必須であり、今後、町の防災訓練の中に車中泊体験等を取り入れることを始め、車中泊避難の対応を進めてみてはどうか。

答 寶達町長

車中泊は避難所の収容限界のため施設に入れない、個別の空間を確保するための理由で行われるが、大規模災害時には車中泊を行う方が多くなり得ることを想定した対策が必要であると考えている。

現在、地域防災計画には、車中泊を想定した対応要領は無く、必要な支援が実施できるような見直ししたい。

また、車中泊の方に開放する場所は、避難所に隣接する駐車場やグラウンドが想定される。

車中泊を想定した町防災訓練の実施については、石川県防災総合訓練を参考に実施を検討していきたい。

町の魅力ある文化財を活用せよ

文化財の保護と観光資源としての活用を充実させる



◀町天然記念物のナンテン

問 松浦議員

町内の県指定天然記念物である善正寺の菊桜や妙法輪寺のナンテン等は地域の方々によって「先人からの遺産」として大切に守られ、町の観光・地域振興に文化財の活用は欠かせません。世の中や経済社会の大きな流れがあるときに文化財の活用について地域の総合力で議論し、今後の発展と定着に結びつけることが重要である。

町として観光事業の中において、町の魅力ある文化財を観光客目線で理解促進そして活用してもらうために、どのような観光振興の支援策がされているのか。

以前、ケーブルテレビで放映された末森合戦など「ディスプレイウォーク」の番組は視聴者からどのような評価を受けているのか。今後、このような歴史や文化を紹介する番組を放映されてはどうか。

答 寶達町長

町の天然記念物には、善正寺の菊桜や浄蓮寺の垂れ桜、またナンテン等もあり文化財の保護は勿論のこと、観光資源として活用することも重要である。

今後は、文化財の保護と観光資源としての活用の両方を充実させるとともに、観光ホームページやSNS等によりPRすることで、文化財をきっかけとした本町への来訪者を増やし、千里浜なぎさドライブウェイや宝達山等の観光スポットへの周遊や飲食店等への利用を促し、経済効果に繋がる仕組みを構築する必要があると考えている。

次に、初めてケーブルテレビで放映した「ディスプレイウォーク」に対する評価であるが、動画サイトでも配信して、町の歴史の素晴らしさを知ることができたと良好な評価が得られた。今後も町の文化財や歴史を紹介する番組を企画したい。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



塚本 勇仁 議員

多目的運動広場とスポーツセンターの維持管理をどのように考える
どの様なやり方がよいのか
よく考えて実施をしたい

問 塚本議員
夏場に向けて、熱中症に対し日陰や休息場所としてベンチの設置が必要と思われるが検討してはどうか。
芝生広場には、手洗い兼用の給水施設が2箇所あるが、遊具広場にも設置してはどうか。
遊具広場において、すべり台やワイヤーを使用した遊具又は遊具全体の安全管理はどのようにされているのか。
芝生広場より遊具広場



▲宝達志水多目的運動広場

に降りる階段が危険なように思われるが、手すりなどを設置する予定はないのか。
芝生広場では、通常グラウンドゴルフ愛好者が利用しているが、子供たちもボール遊びが出来ればと思うが、グラウンドゴルフ愛好者と利用時間等を工夫して両者共に楽しく利用できないものか。
公園内に設置してあるベイン製のトイレがあるが、幼い子供が怖くて入れないということから改善の考えはないのか。
吉野屋体育館横の旧テニスコートや弓道場跡地を簡易的に整備し開放できないものか。

公園内において案内看板が少ないが、遊具広場にも設置してはどうか。
吉野屋体育館の今後の在り方について、防災の観点も含めて検討してはどうか。

答 寶達町長

熱中症対策についてですが、芝生広場の休憩所が日陰となり、ベンチについては芝生広場の休憩所と東側、遊具広場に合計9基を設置しています。更に、広場の西側で野球場に隣接する木陰に簡易ベンチの設置を検討したい。

新たな手洗い給水施設の増設については、給水管の布設を伴うために難しく、既存の手洗い給水施設をご利用いただきました。

遊具の安全管理については、毎年、業者による点検を行っているほか、職員が定期的な目視確認をしております。危険箇所があれば、直ちに使用を禁止するなどの対策を講じ、速やかに専門業者による修繕を行います。

遊具広場の階段への手すりの設置については、階段の幅が広く、勾配も緩やかなため、設置しない考えである。小さな子供にはスロープを利用して欲しい。

芝生広場の子供たちの利用について、多くの方に安全かつ快適に利用していただけるよう、主に利用しておられるグラウンドゴルフ愛好者と協議をしていきたい。

旧テニスコート、弓道場跡地の整備と開放についてですが、旧テニスコートは、施設の統廃合により廃止しており、新たな整備は予定しておりませんが、現状のまま開放できるか検討したい。

公園内のベイントイレの改修については、今年3月に和式から洋式便器に改修しており、併せて、小便器、床等のクリーニングを行っている。また、定期的にトイレの清掃を行い、綺麗な状態にはしているが、ご指摘を踏まえ、外観等については躊躇せずに使用でき

るように配慮し、対策を検討する。

案内看板の増設については、今年度、新たな遊具の設置を行う予定ですので、駐車場付近に設置してある既存の看板を分りやすく修正することで対応したい。

最後に、宝達志水スポーツセンターについては、耐震性が確保されていないことから、災害時に被災された方が一定期間滞在する避難所としての指定は行っておりませんが、地震以外の災害時に避難できる緊急避難場所に指定することを検討したい。

問 塚本議員

遊具場とかに日陰の箇所を造らないという話です。そこで、その対しての避難をするような案内看板などを是非とも今度の新しい遊具を設置する際に設けて欲しい。

答 寶達町長

どの様なやり方が良いのかよく考えて実施をしたい。



林 稔 議員

GIGAスクール構想を 確実に実施せよ

ハイブリッドの授業で 学力向上を目指す

林 議員

今を生きる子供たちにとって、PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっています。社会を生き抜く力を育み、子供たちの多様な子供たちを誰一人取り残すことのないように、GIGAスクール構想を確実に実施すること。

深い学び」のある授業に向け、教科のねらいに迫り、児童生徒の学びを深めるためのタブレット端末の活用について、教員は念頭におき研鑽を積んでいる。対面授業、オンライン授業の良さを活かしたハイブリッド型の授業を、文部科学省も推奨していることですが、これからの授業であると考えている。

細江教育長

このGIGAスクール構想を受け、町内の全小中学校では、今年2月から児童生徒が一人一台の端末を使った授業が可能となり、その授業実践を進めているところである。学校では、求められている「主体的・対話的



ひきこもり支援を どのように考えるか

安心して暮らせる町づくりを 地域ぐるみで

林 議員

「ひきこもり」に関しては、内閣府の調査によれば、主に若年層の問題として考えられ、その支援も就学や就労をゴールとしたものが中心であった。しかし、近年、中高年層の「ひきこもり」の推計値が調査公表され、これまでの問題の捉え方や支援の在り方が問い直されつつある。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い「ひきこもり」支援の現場にも様々な影響が生じているのではないかと

寶達町長

ひきこもりとは自宅や自室から出ない、人と会うのが苦手など、概ね半年以上、社会との繋がりのない状態が続いていることとされている。

従来、ひきこもりは若者の問題と考えられ、不登校問題と同一視されてきました。様々な事情が原因であることが認識されている。

また、ひきこもりの人や家族の高齢化、生活困窮も問題であり、今後の状況の深刻化が懸念される。

様々なケースがありませんが、それぞれの状況に応じた多方面からの支援が必要と考えられる。

ひきこもりの原因や状況は多様であり、個々の事情もあることから、直ちに実態調査を実施することは難しいと考えていますが、県や各相談窓口等の関係機関と連携を密にし、相談の状況等を共有するなど、一層の実態把握に努める。

今後は、相談しやすい環境づくりや窓口の周知、ひきこもりに対する偏見や差別を無くすための啓発活動等により、自立に向けた支援が得られ、安心して暮らせる町づくりを地域ぐるみで推進することに取り組んでいく。



勝二 正人 議員

問 勝二議員
町の表彰制度について、ほとんどの顕彰が公職等の在職年数を満たした場合作り、それ以外に功績や功労・社会貢献のあった人が選考されること
が少なくないと思うがどうか。また、実際に顕彰の対象となるものを調べているのか。

また、内灘町では学校ボランティアや防犯、交通安全、スポーツや文化活動、青少年学術文化奨励賞など、地域の安全や

様々な分野での表彰制度の創設を

新たな表彰制度の創設等について検討したい

様々な分野における活動の奨励や振興発展を図るための表彰制度が設けられている。本町でも、これを参考にした表彰制度を検討してはいかがか。

答 寶達町長

過去の町顕彰表彰者に関して、公職に付かれた方が多く受賞されておりますが、公職以外の方では、区長経験者をはじめ消防団役員、商工会役員、スポーツや福祉活動に尽力された方に対しても表彰している。

選考については、町顕彰者選考基準内規を基に、顕彰候補者や潜在候補者を関係団体に照会し、候補者の推薦を受けて顕彰選考委員会に諮問し、表彰者を決定している。

内灘町の青少年学術文化奨励賞等については、顕著な功績や功労に対する町独自の表彰となっており、新たな表彰制度の創設等について検討したい。

冬季の通学について、

バス通学の実施を求める

生徒の安全確保を優先に検討していきたい

問 勝二議員

以前にも質問しました冬季の通学について、冬季は多くの送迎車が見受けられませんが、国道249号から中学校までの道路や付近の交差点では渋滞が発生し事故等の発生が懸念される。

また、押水地区の保護者から、冬季にバス通学の実施を求める意見がある。

バスを運行すれば渋滞の発生を抑えられ安全確保にも効果があるほか、保護者の負担軽減が図られると考える。

そこで、冬季に通学バスを運行した場合に経費が掛かると思われるが実施できないのか。

答 細江教育長

冬季の期間、国道249号から中学校までの道路や付近の交差点において、送迎する保護者の車による渋滞が発生しており、事故が懸念されることについては、中学校をはじめ教育委員会も把握している。

生徒の安全確保を優先

に冬場だけのバス運行を考えた場合、小学校統廃合も視野に置きながら、バス購入に係る経費や、冬場だけの運転手の確保、バス保管場所の協議を必要があることから、バス運行会社とも相談しながら検討していきたい。



▲生徒たちが通う宝達中学校



▲スクールバスの運行



小島 昌治 議員

町は専門家の指摘を 取り入れた感染対策を

町民それぞれの予防継続を

問 小島議員

新型コロナウイルスから町民を守る検査についてお聞きします。

町内32名の方が感染されています。①高齢者介護施設を利用されていた方、②家族が勤める職場の方が感染したので念のために検査したら感染していた方、③なぜ、感染したのかわかっていない方の3通りです。金沢大学の市村教授は「病院や施設のクラスターは時間がかかるから、一斉検査をすることが有効な対策」と指摘しています。この指摘に応じて、県が全県の高齢者施設や医療機関の職員へのPCR検査を1回だけ行う予算を決定した(町はなし)。4月の議会コロナウイルス感染症対策特別委員会で町長は私の「戦略をも

って感染症対策をする必要があるが町長はお持ちか」との質疑に「持っていない」趣旨の答弁をされた。

国内の多くの専門家の指摘や町内の感染された方々の事例から、定期的なPCR検査の必要性が導き出される。令和2年度の黒字3億8千万円と、国からのコロナ交付金4千万円が残っている。今、町民の検査に利用すべきだが、いかがか。

答 寶達町長

町独自の検査費用の予算化や検査機器の購入は必要ない。町民にお願いした感染対策を継続していただく。

令和2年度の黒字3億8千万円と コロナ交付金4千万円の利用を

(学生の窮状は) 国と県の補助金で



▲ワクチン接種の練習風景

問 小島議員

次に、新型コロナウイルスの影響から児童・生徒・学生を守る対策についてお聞きする。

感染拡大で親の収入や学生のアルバイトが減り、苦しい生活を余儀なくされている学生たちを支援しようとして、全国45都道府県、300力所以上で食料などの支援活動が広がっている。昨年度、議会コロナ対策特別委員会で提案し、県内だけでなく、他の都道府県に行っている大学生・短大生・専門学校生等への支援一時金2万円が実施されたが、今はその時以上の学生たちの窮状だ。町長は実態をどう把握しているのか。今一度、学生支援を行ってはどうか。

また、窮状は大学生や専門学校生に留まっていない。児童や生徒にまで広がっている。政府が今年まとめた第5次男女共同参画基本計画では10代から20代の重要な時期に「月経」を含めた保健の充実・保健医療サービスの提供などの推進が明記

されている。町の「男女共同参画行動計画」は政府の具体的指摘に依っているのか。また、コロナ禍の下で、先程紹介した県内の学生への食糧などの支援でも女性の生理用品が大変喜ばれている。それは、経済的理由によって生理用品が十分に使えずに健康な生活が脅かされている実態、いわゆる「生理の貧困」という実態があることは、多く報道されている。宝達志水町の小中学校の女子トイレに返却不要の生理用品を設置すべきだと思いがいかがか。

答 寶達町長

町内の学生生活の状況はアルバイトが無くなつたという事例がある。国や県において給付金や奨学金の補助が行われている。小中学校に生理用品の設置という問題だが、金銭的な理由で生理用品を購入できないという報告はない。よって、トイレへの設置はしない。

会期中等の
常任委員会等審議

病院運営特別委員会

(5月12日)(6月11日)

5月12日の委員会

○開催目的

①5月4日に宝達志水病院職員に新型コロナウイルスの感染者が確認されたため、感染原因とその後の対応を聴取すること。

②石川県の院内感染対策を学ぶこと。

問 感染が確認された経緯とその対応の説明を。

答 5月3日に職員の家族の友人が感染者であることが判明したため、職員は(濃厚接触者ではなかったが)念のためPCR検査を病院の費用で行った結果、陽性と出た。その日は、連休中で病院が休みだったため、職員113人の検査だけを行った。結果は全員陰性だった。

また、10日間の救急車の受け入れを中止し、5月8日まで外来診療も中止した。5月12日から通常診療に戻した。

問 入院患者さんの検査は。

答 感染した方は病棟への出入りを一切していなかったため、検査をしていません。

問 今後、ワクチン接種した方へPCR検査は不要になるのか。

答 ワクチンを接種したからといって、絶対感染しないとはいえない。

問 今回の職員全体へのPCR検査などは病院の会計で行っているのか。町の会計からか。

答 今回の病院職員全体への検査は、病院会計から支出した。

問 病院会計からの検査費用の支出という形でなく、国からのコロナ交付金などを利用して町民を積極的に検査しないのか。

答 必要な時には、町は積極的に検査のために財政支出をする。病院だけに財政支出させることはしない。

問 県感染症対策本部会議の市村宏金沢大学特任教授が「病院や施設のクラスターは収束に時間がかかり、一斉検査で感染者を早期発見することが有効な対策になる」と指摘。県は県内の病院と高齢者施設の職員を一回検査することを決めた。町も国からのコロナ交付金が4千万円残っている。町はなぜ、独自にしないのか。

また、感染した職員は検査する義務もないのに当初、自らお金をかけてPCR検査を行ったことが、宝達志水病院をクラスターから守った。この職員をどれだけ褒めても褒め足りないがどうか。

答 町は病院で検査が必要と判断した時には、感染状況にに応じて対応する。原

6月11日の委員会

○西澤病院長の報告要旨

「最近では近辺の病院・施設等でクラスターが発生している。それを受け、うちの病院でも入院患者さんの3名の受け入れを行っている。ただ、そのために看護師がその病室の専従となるため、手術が実施できないことになり、病院収益が悪化している状況がある。病院職員一同、更に身を引き締めて感染対策を行っていく。」

○松田病院事務局長の報告要旨

「昨年来のコロナ禍の下での令和2年度の病院会計決算の概要について簡単にご報告します。医療収益はコロナ患者の受け入れの関係で手術や入院患者の制限を行ってきたために、対前年度比で

2千万円余マイナスですが、(病院職員の頑張りと共に)コロナ患者を受け入れている病院への国や県からの補助金で、この赤字が解消されています。また、外来の患者数はコロナ禍でも大きく減っていることはありません。」

問 令和2年度入院患者さんの減少はなぜか。

答 病院で手術ができない状況にあったのが大きいです。また、コロナ患者受け入れのため、病床を確保しておく必要があったことも影響しています。

問 県の医療労働組合の看護師アンケートには感染の不安が強い。県内の市町村でも独自のPCR検査の予算が計上されているが、...

答 院内の定期的なスクリーニングをどうやるか、PCR検査の機械を購入するかどうかということも、今考慮している。

教育厚生常任委員会

(6月14日)

検討はされたのか。

答 県内市町の状況を踏まえ、更に検討していきたい。

問 子育て世帯生活支援特別給付金はひとり親世帯にも給付されるのか。

答 ひとり親世帯の給付は、県から直接給付されている。

問 ひとり親の名簿を持っているか。

答 児童扶養手当の認定を受けている人は把握している。

問 ひとり親は届出がないと分からず、所得制限があるので、対象者に確定申告するよう働きかけてはどうか。

答 税務課と連携して対応していく。

問 国民健康保険加入者の一人親方の方はコロナや病気になるっても何の保障もない。傷病見舞金制度の

問 活用予定が決まっている中で、宝達保育所の解体に約2千万円かける価値があるのか。解体も含めて売却するという考えはないのか。

答 建物があるまま購入者を探すのは困難であり、今後、建物を解体した後で活用計画を検討していく。

問 志雄小学校グラウンド芝生化のメリットは。

答 児童の体力向上や転倒時の怪我の減少、ヒートアイランドや砂ぼこりの緩和が考えられる。

問 小学校統廃合について、

以前に計画があったものとの違いは何か。

答 これからの子どもの学びの保障として考えている。また、財政面や少人数の子どもの解消といったことから2校での統合とされている。

総務産業建設常任委員会

(6月16日)

作成し、作成については金城大学にお願いをしている。

問 空き家バンク制度を利用した移住希望者の審査等を行っているのか。

答 登録件数を増やして、移住促進に繋げるため、移住希望者の審査は行っていない。

問 移住者に対して地域のルール等を知らせることは出来ないか。

答 移住希望者向けのパンフレットを作成しており、これを活用して地域のルール等があることを伝えていきたい。

問 町PR事業として、子育て世帯に寄り添ったPR

冊子2案はどういったところにとどのようなものをお願いしたのか。

答 子育てと教育に特化したものと定住と地場産業をとりあげたものの2案で

問 マンガを活用したPR冊子は子育て世代の移住・定住を促進する観点から、一貫した考えの基で1冊の冊子で制作を進めるべきではないか。

答 教育、子育ての他、定住、地場産業等の内容で4ページで2冊の制作を検討している。

問 公共施設等総合管理計画の成果、進捗状況は。

答 平成27年度に策定し、令和2年度にはより具体的な個別施設計画編を策定した。個別施設をどう統合するか内部で議論し、大型の小学校の統廃合が進まないことには難しいというところで、町長が提案したように小学校の統廃合を進めていくということ、具体的にはこれから進めていく。

問 3年に一回の固定資産の評価替えについて、世相や経済状況等を反映させることを考えていくのか。

答 農地については、県内市町における基準値の価格は近年据え置かれていますが、評価見直しについては、近隣や国の動向を見据えながら検討していく。

問 現在荒れている農地を売買しようとしたが、農業振興地域に指定されているため、売買が不成立になった。世相や経済状況に応じて、見直しを行っていくべきではないか。

答 農振農用地について、現在見直しを行っており、今年度中に県に申請したい。

問 道路整備、橋梁補修等も大事であるが、大雨時にもいつも冠水する箇所が町内に2、3箇所あるので

状態を念頭に置き正しい認識をしておくこと。

答 冠水する箇所については、柳瀬地内を含め承知している。大雨時は冠水する箇所のパトロールなど早急に行っていく。また、柳瀬地内の冠水対策については、来年度に国の交付金事業で整備を検討したいと考えている。



▲大雨による冠水道路（柳瀬地内）

4月20日

新型コロナウイルス感染症対策 特別委員会を開催

新型コロナウイルス感染第4波の中で、新型コロナウイルスワクチン接種が始まりました。そんな中で半年ぶりの町の感染症対策特別委員会が開催されました。

議会側からの提案と 町の答弁（要約）

議会①

国からのワクチンの薬剤の供給量が少ないため、誰を先に接種するのかの戦略が必要だ。羽咋市などは7歳以上の人が先となっている。志賀町では高齢者施設入所者からとなっているかがいかがか。

町①

後に、ワクチンも増やされるでしょうけど、その時に応じた戦略を立てて行う事が確かに必要である。

議会②

宝達志水病院でのワクチン接種の利点よりも、問題点の方が大きいと思うが、他所での広い会場での接種は考えていないのか。

町②

検討してみる。

議会③

今日の地元新聞の一面は「県内施設でのクラスター」という見出しです。この記事の中で県の健康福祉部長の北野さんが「医療従事者は感染防護をしているが、日常の何気ない活動が感染に繋がるリスクが高まっている。いつどこに、どんな形で入り込むかはわからない」という危機感をコメントとしている。

また、金大附属病院の副院長の谷内江先生は「病院内での対策に気を付けている医療従事者も感染してし

まうほど市中感染が広まっている恐れがある」とコメントされている。

感染に対する宝達志水町民の防衛を（行政として）どうやるかという方針を町長の口から聞いたことがない。ぜひ、この場で示してほしい。

町③

おっしゃる通り、感染予防なり、接種についての方針というのは本当に大事であると考えています。感染についてもいつどんな形でかかるかわからないと、そういう風に言い切っているような状況になると思っている。

ワクチンにしても現在、国から2,000回分しかこない（4月20日現在）という状況である。

県内の状況をしっかりと把握して、安心して接種していただくことに努める。



「表紙の写真は」

議会広報「宝達志水町を裏で支える人達」の第3弾は「宝達山ファンクラブ」の皆さんです。

宝達山ファンクラブの代表者である橋英子さんにお話を伺いました。

宝達山ファンクラブは現在の会員64人と共に自然に親しみながら様々な活動を行っています。

近年、コロナ禍や宝達山の山頂にある「休養施設 山の龍宮城」の閉鎖が長引き、活動の縮小が余儀なくされる中においても、アサギマダラという蝶が飛来するためのフジバカマの花壇整備や、今年1月の暴風雪により、宝達山ファンクラブの手作り登山道「こぶしの路」が倒木でふさがれ、復旧作業が行われるなど、精力的な活動を実施しました。

いづれも、宝達山ファンクラブの会員とボランティアの協力の賜物です。

これからも、能登最高峰（標高637メートル）である宝達山からのエネルギーで頑張っていただけることを期待します。

インタビューアー 林 稔

表彰

4月22日、石川県町村議会議長会の定期総会が開催されました。

この席上で表彰状伝達式が行われ、全国町村議会議長会から自治功労町議会議員表彰が授与されました。

○自治功労者表彰

柴田 捷 議員



令和3年 第3回定例会本会議の日程

〔開会〕 9月9日(木) 午前10時 〔再開〕 9月17日(金) 午後2時

◎傍聴のご案内

■受付 会議当日、午前8時30分から議会事務局（庁舎3階）で受付いたします。

■手続 傍聴受付票にご自分の住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。

◎新型コロナウイルス感染防止のため、人数を制限するなど感染防止対策にご協力ください。

◎町議会のトップページより議会本会議の生中継をインターネット（YouTube）で見られますのでご覧ください。（※本会議当日は1階正面玄関住民課側の町民サロンのテレビでもご視聴いただけます。）

●議会だよりへのご意見、ご感想がありましたら、電話、FAX、Eメールなどでお寄せください。

広報編集特別委員会

- 委員長 林 稔
- 副委員長 小島 昌治
- 委員 塚本 勇仁
- 委員 松浦 文治
- 委員 勝二 正人

令和3年8月1日 発行

■発行 宝達志水町議会

責任者／議長 金田 之治

〒929-1492 石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL(0767)29-8310 (直通) / FAX(0767)29-4623

E-mail gikai@town.hodatsushimizu.lg.jp

■編集責任者／林 稔



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。